

平成28年度『共生型地域福祉拠点』推進セミナー

※主催：北海道

※平成28年12月16日（金）13：30～

※北見芸文ホール

報告者：高齢者110番の家．新生町地域福祉拠点
『地域食堂きたほっと』主宰

有限会社 エーデルワイス

北見

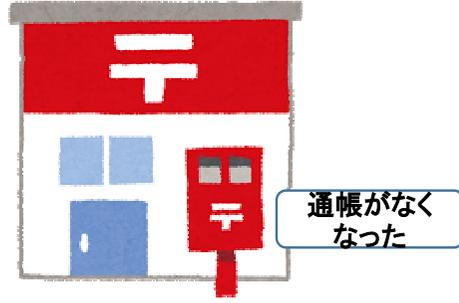
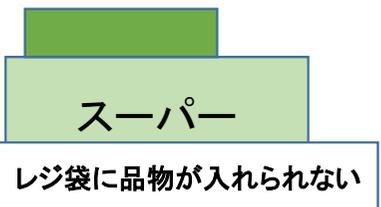
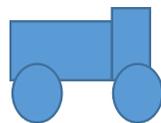
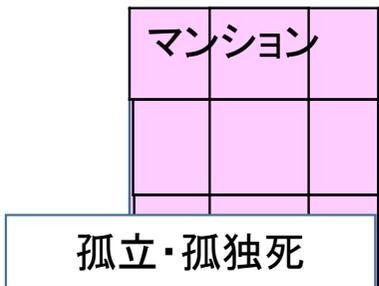
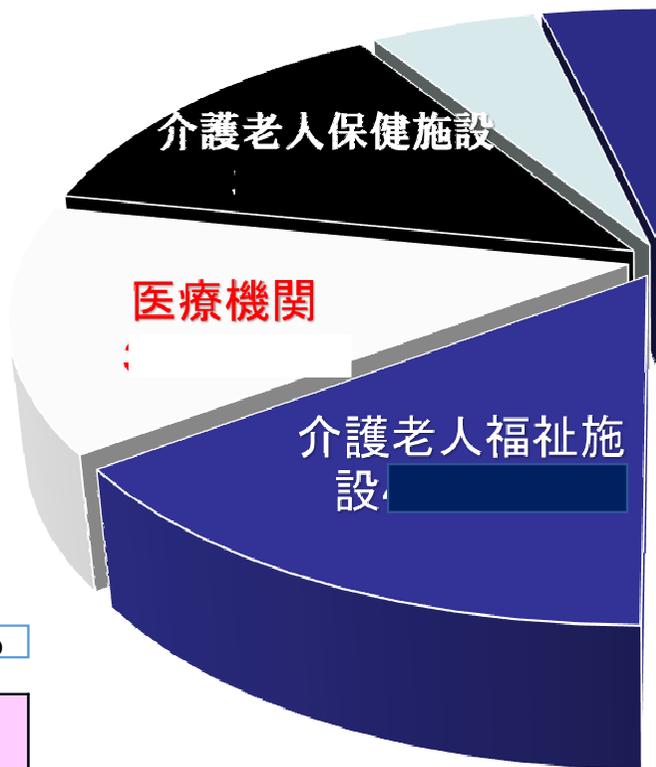
青山 由美子



**子供から高齢者⇒『高齢者110番の家』
平成23年度国の支え合い補助事業を力に開設！**



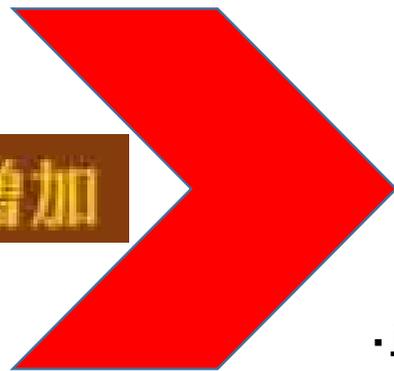
1) 在宅介護の実態 認知症高齢者の約5割が在宅で生活してる



2) 在宅で介護する家族を取り巻く環境

(1) 家族の縮小と介護者の高齢化による介護負担の増大

世帯数の増加



その世帯に暮らす
人の数は減少

・単身・高齢者のみの世帯増加

しかし

老老介護が更に増加し、精神的、身体的負担も増大

家族の助け合いは困難な状況



高齢者110番の家
きたほっと 地域食堂の きっかけ となったボランティア団体
行方不明になった認知症者の搜索事業

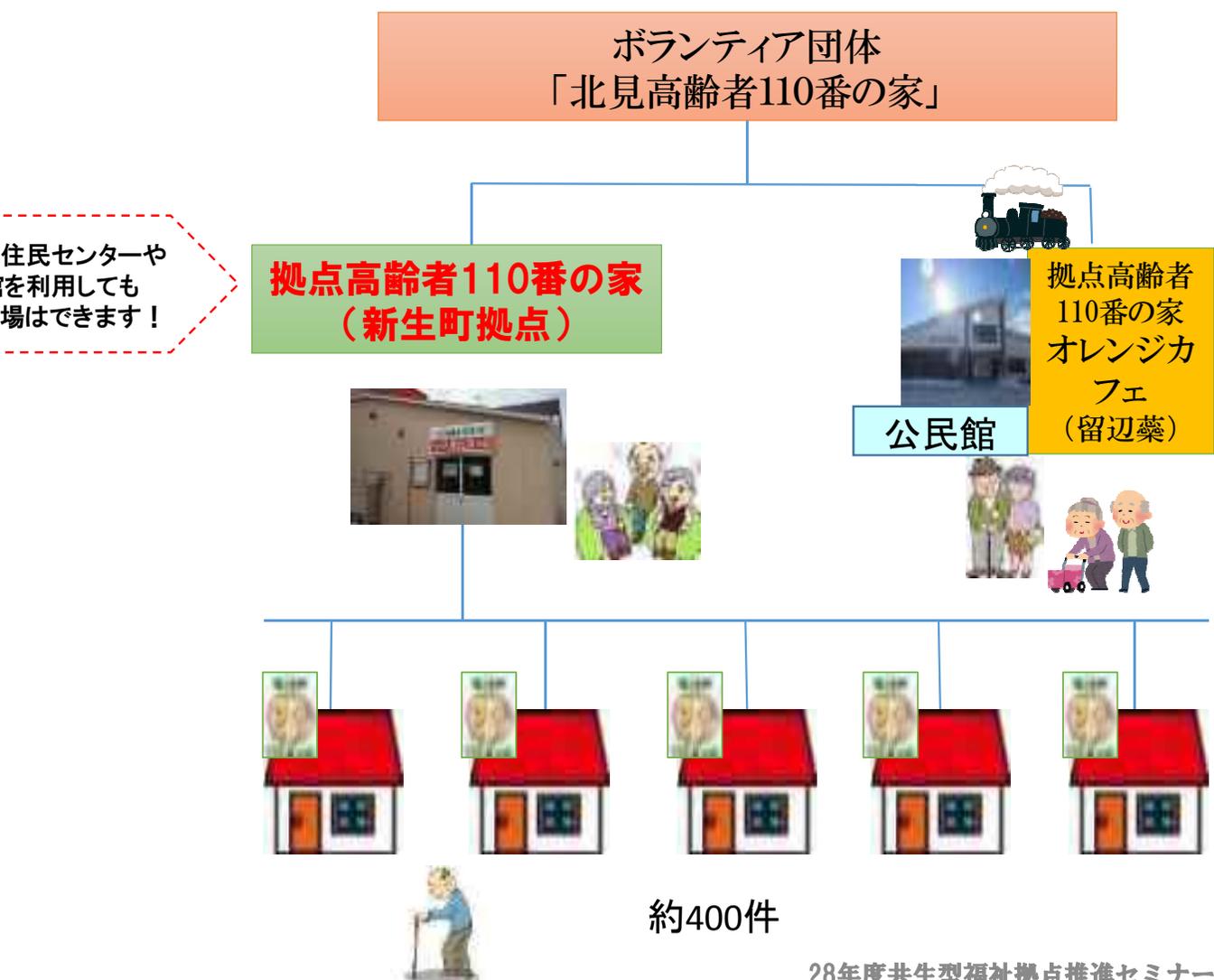


行方不明から安全に戻れる事を願う会

気づき

探す前の地域のネットワークが必要

地域への発信！助け合える環境を自分等からつくろう



This callout box contains several scenarios and actions:

- Scenario 1: A woman on a phone says, **「高齢者110番の家ですが…」** ("It's the High-Aged 110 Number Home...").
- Scenario 2: **ウロウロしている。家にもどれない。住所がわかる** (Wandering. Can't get home. Address is known). Action: **ご自宅へ連絡** (Contact home).
- Scenario 3: **認知症？** (Dementia?).
- Scenario 4: **自宅が不明** (Home unknown). Action: **警察110番へ連絡** (Contact police 110).
- Scenario 5: **介護相談** (Nursing consultation). Action: **地域包括支援センターへ連絡** (Contact community comprehensive support center).

立ち上げ時、運営委員の人々の中には

- 町内会長
- 連合町内会長
- 民生委員
- 地域住民
- 北見市社会福祉協議会
- 福祉施設関係者
- グループホーム関係者
- デイサービス関係者
- 居宅支援事業所
- 評価機関
- 病院医療ワーカー
- 認知症の人と家族の会会員
- エーデルワイス家族会
- 難病連役員
- 行方不明から安全に
戻れる事を願う会役員
- I T関係事業所

北見高齢者110番の家 地域福祉新生町拠点
平成24年3月10日「地域食堂きたほっと」誕生 5年を過ぎました！

設立会議



開設日



おじさんが指導



夏休み竹細工



ママも一緒に参加

ボランティアに多くの子供も



きたほっとは

共に助け合い参加できる場

2025年
5人に1人が認知症

団塊の世代が後期
高齢者となる

行政も

町内会
も

子供も

年金の
少ない
人も

介護中
の人も

地域
包括も

福祉事
業所も

障がい
をもった
人も

認知症
になった
ばかりの
人も

孤独な
男性も



みんなが、笑い、楽しみ、集い生きていける場が必要

安心まちづくりフォーラム 認知症の妻を介護する夫からのお話&グループワーク



熱心に
参加して
いただき
ました。



～認知症の人を見守り共に地域で生きる為には～

警察課長さん
からの
お話



「昔はにぎやかだったのに、今は盆踊りもないんだよ。さびしい!」住民が希望するもの
きたほっと 夏祭り 今年も継続中

始まり
ました



認知症サポーター養成



地域のパパ・ママ集合



終了後の労いの会



民生委員さんから伝授



楽しそう!

顔の見える関係づくり 地域みんなが集う場を再現



月に2回の実施です。体操＋脳活性＋食事



認知症予防

地域の交流の場 地域食堂「きたほっと」

元気な高齢者が虚弱な高齢者を支えている。



俺おれ詐欺、
電話来たん
だよ！



地域交流
第2土第4火、
2回



- カレーライス
セット250円
- ドーナツ50円
- コーヒー50円

身近な学
びの場。



《脳活性》
音読・メロ
ディー・
回想



連絡網
作成

- 1) 注文書への記入
名前も
- 2) 自ら計算
- 3) 缶かんの中へ

笑いの体操
が一番だ
よ！

体操



食べる人・つくる
人どちらも互角

ボランティアさん
も払います

安否の
確認

情報の交換



参加は、お
しゃれをする
こと

留辺薬 オレンジカフェ

障がいしゃも、認知症の人も、地域の人もみんなで集う場！
毎月第1日曜日ですが、1月は22日開催！



この日は、就労支援で働き、グループホームで暮らす仲間が、デズニーランドへ行ってきたとたくさんお話を聞かせていただきました。

認知症高齢者のAさんも、ハワイに行かれた話しを思い出し、楽しいひと時を過ごすことができました。

**カルタ取りは、みんな
すごい力を発揮されておりました。**

北見市中央高齢者相談センター(地域包括)の働き 『ほっとひといき』 介護家族の集いの場(市内全域)



今年10月から開始され12月14日で**3回目**を終了です。

- 介護する家族の立場から日常の介護のご苦勞を互いに話す場となりました。
- ほぼ全員の参加者が「次回以降も集まりたい」と申し出があり、
- 12月14日には、参加者が立ち上がり住民主体で動いていただけようになりました。



みんなの意見から

- テーマは決めなくて良い
- どの人の話も心に入る
- 話を聞くだけでも自分はまだ、よいほうだと思う。
- 父親を介護しているがもう限界であっても手放す事に申し訳ないと悩む。じぶんが病気になった。
- 他の人も誘いたい ●情報を知りたい

今後も・・・

- **会**の主宰者・リーダーは、型にはめずにボランティアさんが大変なときには相談に乗り課題解決に支援をさせていただく。
- 柔軟性を持ち、会話のみの場であったり、負担をかけずに変化することで長く交流できる場の継続を目的とする。
ダーウィン(進化論)変化できるものが生き続けることができる。 (北星:岡田直人先生より評価)
- これから始める地域の方への老婆心としては、
 - ① 住民センター等のランニングコストがかからない場所を確保。
 - ② 外出できずにいる家庭での話す場(3~4人)を相互に理解後活用。
 - ・お茶程度、出かけていく人が用意し片付ける。
 - ・一定の時間(延長なし)
 - ・ときには地域包括と連携をする。地域での困っていることへの助言をいただく。

スーパー高齢社会は、 子供110番と、 高齢者110番の家の融合が必要かな



地域の支え愛は、
少しの時間と勇気から
未来へ向かい
地域へ形のない財産を残していきたい。

子供・高齢者
110番の家



今後

立ち上げを希望されている方は、
陰ながら時間の許す限り
お手伝いを支援させていただきます。
お気軽にご相談ください。
施設を使用しても良いと言う保育園もありますよ。

ご清聴誠にありがとうございました。

